

令和5年度 事業報告書



地域サロン交流会のようす（令和5年12月15日実施）

目次

【総括】	・・・	1
【事業報告】		
（1）福祉の風土づくり	・・・	3
（2）住民主体の活動づくり	・・・	10
（3）新たな絆をつむぐまちづくり	・・・	26
（4）地域で安心して暮らしつづけることができる体制づくり	・・・	29

社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 総括

令和2年1月国内で最初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症も、令和5年5月には感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、基本的な感染症対策を行いながらではありますが、社会経済活動も徐々に回復してきました。

一方で、燃料費高騰や物価高騰などの現象が起これ、予断を許さない状況であり、また、孤独孤立や引きこもりなど、これまで表面化してこなかった社会問題も発生しており、誰一人とり残さない社会福祉の取組の必要性が問われております。

こうした中、草津市社会福祉協議会はコロナ禍の経験を踏まえ、ICTの活用などにより効果的な事業展開を図りつつ、一人ひとりの顔が見える地域福祉活動を進めてきました。

徐々にではありますが、先の社会問題に危機感を持ち、主体的に踏み出そうとしている住民の姿があり、身近な暮らしの場で支えあう地域の特徴ある福祉活動が広がっております。

令和5年度は第4次地域福祉活動計画の2年目にあたり、計画の着実な実行に取り組み、基本理念である「誰もが ころろ温かく支えあい 住みつづきたい 福祉のまち・くさつ」を目指し、一人ひとりが尊重される地域共生社会の実現をめざしてまいりました。

重点項目への取組

地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発

- ・広報紙「社協くさつ」を年4回発行するとともに、希望される方には点字版も発行し、ホームページのリニューアル後も更新に努め、職員による「出前講座」を行うことで、地域福祉の周知啓発に努めました。

地域福祉活動の担い手づくり

- ・福祉教養大学や大学院を開講し、人材の育成に努め、学区社協への活動助成を行うとともに、福祉委員の設置促進を手引や学習会を通して行うことで、地域の福祉活動の担い手づくりを進めました。

地域で支えあう仕組みづくり

- ・生活支援体制整備事業では地域支え合い推進員の配置と協議体を設置することで、地域で支えあう仕組みを推進するとともに、地域支えあい運送支援などの社会資源の発掘に努め、フードバンクセンターや福祉機器リサイクルを活性化し、地域福祉の活動を進める関係団体への支援を行うことで、地域で支えあう仕組みづくりを行いました。

若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

- ・ペットボトルキャップやプルトップ、使用済み切手の収集など、収集ボランティアを広げるとともに、ボランティアマルシェの開催を通して、ボランティア活動に興味を持っていただき、若い世帯のボランティア活動のきっかけづくりを行いました。

新たなボランティア発掘の仕組みづくり

- ・福祉教養大学院の卒業生が立ち上げたボランティアグループに助成を行い、グループ活動拡大を行うとともに、ボランティアマルシェを開催し、ボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成することで、新たなボランティア発掘の仕組みづくりを行いました。

分野を超えたつながりづくり

- ・善意銀行の運用と活用により寄付金や寄付物品を募り、市民の福祉活動への寄付意識の醸成に努め、分野を超えたつながりづくりを行いました。

学区社協をはじめとした地域福祉活動支援

- ・学区社協会長会の開催を通して、地域の連携を図り、学区社協便覧の作成等を行い、地域福祉活動の推進の拠点となる学区社協を支援することで、学区社協をはじめとした地域福祉活動支援を行いました。

ボランティアセンターの機能強化

- ・ボランティアグループや個人ボランティアとの協力のもと、ボランティアニーズの調整やマッチング、ボランティアのPRなど、ボランティアセンターがボランティア活動の拠点となるよう、ボランティアセンターの機能強化を行いました。

包括的な相談体制の構築

- ・生活つなぎ資金や生活福祉資金の貸付を行うとともに、相談員や弁護士の協力のもと、心配ごと相談所の運営を行い、年末には歳末たすけあい見舞金を配布することで、包括的な相談体制の構築を行いました。

地域福祉活動推進に要する財源確保

- ・社協の広報紙である「社協くさつ」やホームページの有料広告を行い、社協のマスコットである「ふくちゃん」の啓発を行うとともに、赤い羽根共同募金運動や赤十字事業の推進を図ることで、地域福祉活動推進に要する財源確保を行いました。

2. 事業報告

I. 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、
地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 重点

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

2,005,573 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、回覧や全戸配布により、市社協事業や住民の福祉活動に関する情報発信を行いました。

- 令和5年 7月1日号 (No. 177) 【発行部数 4,350部 (回覧)】
- 令和5年 9月1日号 (No. 178) 【発行部数 58,500部】
- 令和5年11月1日号 (No. 179) 【発行部数 58,500部】
- 令和6年 3月1日号 (No. 180) 【発行部数 58,500部】

【主な掲載記事】

市社協の運営に関すること	・令和4年度決算および令和5年度の主な事業 ・役員および評議員交代
地域・団体の活動に関すること	・くさつをさいこうにするつながり通信 ・障害児者介護者リフレッシュ事業
ボランティアに関すること	・はいボランティアセンターです！ ・送迎ボランティア募集、 ・草津市ボランティア連絡協議会 ・草津市社協事業協力ボランティア育成講座
地域サロンに関すること	・地域サロン立ち上げ講座 ・地域サロン交流会 ・地域サロン活動のご紹介 ・まごころ便
災害ボランティアセンターに関すること	・災害ボランティアセンター運営協力者募集 ・災害ボランティアセンター運営訓練・研修会実施
赤い羽根共同募金に関すること	・赤い羽根共同募金 ・歳末たすけあい見舞金
日本赤十字社に関すること	・赤十字奉仕団員募集 ・災害義援金・救援金の受付 ・赤十字活動のご紹介
講座・研修に関すること	・草津市福祉教養大学・大学院 ・ひきこもり支援を考えるフォーラム
その他市社協事業に関すること	草津市社会福祉協議会功労者表彰、フードドライブ事業、チューリップ事業、電話訪問、特例貸付の返済相談、他

●ホームページ運営事業

275,000 円

市社協事業や地域での取組の情報発信や、ボランティアや寄付の募集を効果的に行うことができるよう、制作業者のノウハウを活用しながら内容の見直しを随時行い、使いやすさや見やすさの向上に努めました。

○ホームページアクセス総数 … 83,026 件/年

●近所力アップ講座（出前講座）

2,128 円

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

学区	開催日	内容	参加者
草津 (草津学区社協)	令和5年 8月6日(日)	災害ボランティアセンターの取組をと おした地域福祉活動の大切さ ～日常的なつながりが災害に強いまち をつくる～	55人
玉川 (桜ヶ丘町内会)	令和6年 2月3日(土)	草津の魅力を再発見 ～心温まる物語にふれましょう～	60人

●「広報くさつ」点字版作成・配付事業

378,000 円

視覚障害があり、「広報くさつ」の点字版または墨字版の配付を希望される方に配布しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」に委託しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人	点字版36部
障害者福祉センター	1カ所	点字版12部 墨字版12部
草津市広報課	1カ所	墨字版12部

<関連する事業>

・福祉教育の推進 ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

●社会福祉功労者表彰式典

168,444 円

長年にわたり地域福祉の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、社会福祉の向上のためご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。

また「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力された個人・団体を表彰するとともに、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。

○式典開催日：令和5年11月18日(土)

○開催場所：草津市役所 8階大会議室

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	4人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与した者	10人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄与した団体	12団体
	長年にわたり社会福祉の向上のため多額の寄付をいただいた団体	1団体
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	1校
感謝	社会福祉の向上のため寄付をいただいた方々	10人
	社会福祉の向上のため寄付をいただいた団体	11団体
	社会福祉活動に積極的に協力いただき、その功績顕著な方々	2人

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	3人
		1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄付をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	1人
		5団体

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

902円

ボランティアや地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や学校等の福祉教育を支援しました。また、小中学校の子ども達への福祉教育の推進を目的として「福祉教育のてびき」を作成し、福祉教育の教材資料として子どもや教師に配布しました。

	実施回数	実施内容 内訳					
		車いす体験	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解	高齢者疑似体験等
幼・保	1	0	0	1	0	0	0
小学校	20	1	7	6	3	2	1
中学校	4	0	1	1	0	1	1
高校	1	0	1	0	0	0	0
その他	10	0	1	1	0	1	7
計	36	1	10	9	3	4	9

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(3) 住民どうしが互いに見守り・気にかけてあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気にかけてあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めています。

●チューリップ事業（つながりサポート事業）

3,053,184円

コロナ禍において、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の配付を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、地域の支援者につなげました。また、連携会議や研修会を実施し、地域の居場所開設など、施策連携・公民連携・地域連携の3連携による支援体制の強化を図りました。

【生理用品配布窓口一覧（19カ所）】 ◎…食糧品も提供

キラリエ内	男女共同参画センター、人権センター、◎草津市社協
市役所内	◎人とくらしのサポートセンター 子ども家庭・若者課、家庭児童相談室、健康増進課、生活安心課
その他施設等	ハローワーク草津、草津市障害福祉センター、発達支援センター、草津市立図書館、フードバンク滋賀
地域窓口拠点	ゆかい家、ふれあいハウス絆、志津まちづくりセンター 玉川まちづくりセンター、南笠東まちづくりセンター、新田会館

○年間の提供数

- ・ 838セット（1セット＝昼用20個入り×1袋と夜用10個入り×1袋）
- ・ 個包装・・・1,206個（キラリエおよび図書館の各トイレに設置）
- ・ 小中学校・・・7,332個（20校）

○関係機関会議・・・2回開催（18機関が参加）

○研修会・・・テーマ：「対人援助に役立つ相談基礎」（参加者68名）

○居場所開設

<草津学区社協活動拠点ゆかい家にて>

- ・ レディースカフェ・・・週2回（年間約70回）開催
- ・ ポーセラーツイベント開催・・・計2回開催（参加者15名）
- ・ 「明るい不登校の会」への会場提供協力
・・・計10回開催（参加者平均8名）
- ・ 相談者 11名

<志津南学区社協にて>

- ・ クリスマスガーランドイベント…1回開催（参加者33名）

○年間の寄付受付数

390袋（うち企業・関係機関：334袋、個人：56袋）

●ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業 100,000 円

「第5回ひきこもり支援を考えるフォーラム」

社会参加や対人交流に不安を抱え、自宅でひきこもり状態にある方への適切な支援について理解を深める場として、フォーラムを開催しました。開催にあたっては、湖南地域各市社協と滋賀県社協で湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委員会を設置し、支援技術の向上につなげることができるよう、市民や関係機関に広く周知して実施しました。

開催日	内容・講師	参加者
令和6年 2月7日(水)	本人や家族の心情をどう理解し寄り添うのか ～「ひきこもり」から温かい地域づくりを考える～ 講師：KHJ全国ひきこもり家族会連合会 事務局長 上田 理香さん	69名

●社会を明るくする運動 110,000 円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で各関係機関・各団体が運動に関する啓発と作文コンテスト*を実施しました。

○街頭啓発

草津駅、南草津駅にてのぼり旗を掲出し、啓発に取り組みました。

また、7月3日には草津駅・南草津駅前でも協力団体とともに、啓発品を配布しながら、市民等に対して運動の意義を啓発しました。

協力団体	草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会
------	---

※作文コンテスト …令和5年度は、作文の応募はありませんでした。

●地域サロン活動支援 9,677,694 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりの構築を目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- 新たに設置された地域サロン …… 3 団体
- 解散した地域サロン …… 2 団体
- 運営相談並びに情報提供 …… 147 件
- 地域サロン訪問 …… 4 件
- 地域サロンとボランティアの需給調整 25 件

【年度別サロン数】

令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
146サロン	157サロン	157サロン	158サロン

【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和5年度	令和4年度
年間参加者延べ人数	62,155人	62,164人
年間運営ボランティア数	19,468人	19,962人

【学区別地域サロン開催状況】

区 分	地域サロン総数			年間対象者参加者数(人)		スタッフ数(人)		町内会数	設置割合
	内タイプ数	タイプ別		対象者参加合計	タイプ別				
		内新規	対象者参加者数		スタッフ数	スタッフ合計			
志 津	A	14	1	6,075	6,205	2,266	2,292	12	125.0%
	B	1	0	130		26			
志津南	A	8	0	5,588	5,627	1,748	1,788	14	64.3%
	B	1	0	39		40			
草 津	A	13	0	6,970	6,970	2,193	2,193	26	50.0%
	B	0	0	0		0			
大 路	A	9	1	4,627	4,799	1,069	1,093	26	42.3%
	B	2	0	172		24			
渋 川	A	9	0	2,955	3,195	1,154	1,165	17	58.8%
	B	1	0	240		11			
矢 倉	A	8	0	3,456	3,456	1,071	1,071	12	66.7%
	B	0	0	0		0			
老 上	A	7	1	5,912	6,193	1,182	1,245	9	88.9%
	B	1	0	281		63			
老上西	A	5	0	3,894	3,951	658	676	19	31.6%
	B	1	0	57		18			
玉 川	A	8	0	3,304	3,485	1,394	1,463	4	225.0%
	B	1	0	181		69			
南笠東	A	3	0	1,029	1,230	245	326	6	66.7%
	B	1	0	201		81			
山 田	A	14	0	5,522	5,713	2,155	2,179	14	114.3%
	B	2	0	191		24			
笠 縫	A	12	0	6,541	7,038	1,767	2,002	26	57.7%
	B	3	0	497		235			
笠縫東	A	5	0	1,025	1,515	564	986	14	64.3%
	B	4	0	490		422			
常 盤	A	10	0	2,470	2,778	897	989	16	81.3%
	B	3	0	308		92			
合 計	A	125	3	59,368	62,155	18,363	19,468	215	67.9%
	B	21	0	2,787		1,105			

※Aタイプ・・・年間開催回数が20回以上

Bタイプ・・・年間開催回数が10～19回

●地域サロンの運営支援（交流会および立上げ支援）

336,339 円

地域サロンの運営者が交流する場として地域サロン交流会を開催し、運営者同士のつながりづくりや地域サロン運営に関する課題や困りごとについて意見交換を行うとともに、企画の参考となるボランティア活動やアイテム制作を体験できる機会を提供しました。

また、地域サロンの新規立ち上げを支援するために地域サロン立ち上げ講座を開催し、立ち上げを検討しておられる方が抱えている疑問や課題を解消できるよう、既存地域サロン運営者や市担当者から地域サロンの意義や活動内容について説明しました。

【交流会】

開催日	内容・講師	参加者
令和5年 12月15日（金）	① ウェルカム演奏 クラリネットの音色を楽しみましょう 協力：澤田 誠一さん ② 蓄音機コンサート 昔懐かしい映像とSP盤の音色を楽しみましょう 協力：音竹さん ③ 数字合わせ 協力：ボランティアグループふくちゃん ④ 地域サロンで役立つアイテムづくりと交流会 協力：地域サロン応援の会 “一心たすけ”	66名 (41 サロン)

【立ち上げ講座】

開催日	内容・講師	参加者
令和6年 1月19日（金）	① 「地域サロンの役割」 草津市長寿いきがい課 ② 地域サロン活動紹介 ～地域サロンで大切にしていること～ ・ぽかぽかサロン 岡 中瀬清美さん ・なごやかサロン 辻 和巳さん 服部孫司さん ③ 「地域サロンのてびき」 市社協 ④ 地域サロンなんでも相談	11名

●炊き込みご飯「まごころ便」の実施

54,661 円

コロナ禍でも、地域サロンの活動者の前向きな気持ちを応援し、参加される高齢者に笑顔になっていただけるよう、草津市赤十字奉仕団と草津市社会福祉協議会がコラボして、「炊き込みご飯」を作りました。

活動4年目を迎える今年度も、想定を上回る申込みをいただき、計653個の炊き込みご飯を地域サロンにお配りしました。

実施日	応援サロン数	個数
10月18日（水）	16サロン	328個
11月16日（木）	13サロン	325個
合計	29サロン	653個

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

基本目標 2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくります。

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり **重点**

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

●第6回草津市福祉教養大学

621,291円

地域の担い手不足と言われている現状を打破し、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に「福祉教養大学」を実施しました。今年度は「生きる・活きる ～自分のため、地域のため～」をテーマに、幅広い分野の講師に講演いただき、今まで福祉に興味がなかった方にも多くご参加いただきました。また、5講座全てを受講された方々には、卒業証書を授与し、今後の活動の励みにしていただきました。

【第6回草津市福祉教養大学 基礎課程】

延べ参加者：237人

	開催日	内容・講師	参加者
入学式 第1講座	令和5年 8月18日(金)	「写真が語る、いのちのバトンリレー ～地域をつくり 世をつくる～」 ・講師：写真家・ジャーナリスト 國森康弘さん	23人
第2講座	9月21日(木)	「老いを支える医師から見た人生観」 ・講師：おぐまファミリークリニック 院長 小熊哲也さん	50人
第3講座	10月19日(木)	一部「地域共生社会の実現に向けた思い 重層的支援体制整備事業について」 ・講師：厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 支援推進官 犬丸 智則さん 二部「健幸に生き抜く力」 ・講師：浜本内科医院院長 浜本徹さん	30人
第4講座	11月26日(日)	「人生は足し算命」 ・講師：JA愛知厚生連 海南病院 医師 大橋洋平さん	86人

第5講座	令和6年 2月8日(木)	<p>「草津市の魅力を発見 ～くらし、ささえる、地域のつながり～」 * (公財)草津市コミュニティ事業団「ひと とまちの未来をつくるカレッジ2023」 との合同開催</p> <p>【コーディネーター】 龍谷大学 社会学部現代福祉学科 特任教授 山口浩次さん</p> <p>【パネリスト】 <山田学区> 山田学区社会福祉協議会 会長 中瀬清美さん 山田学区社会福祉協議会 顧問 岡顯朗さん <常盤学区> I. キャンパス 代表 今村崇志さん</p>	34人
卒業式・ 大学院 実践 発表会	3月21日(木)	<p>卒業式 ・大学、大学院卒業証書授与、卒業生と 講師代表あいさつ 大学院実践発表会 ・1年間の実践のあゆみ発表、大学院生 より一言発表</p>	14人

※第6回草津市福祉教養大学卒業生 12人

【第5回草津市福祉教養大学 大学院】

これまでの5講座すべてを受講された方がさらに活動を実践していく場として、大学院を昨年度に引き続き開校しました。

今年度は、新たに市内高齢者福祉施設に対するボランティアニーズの掘り起こしとボランティア同士の交流をテーマに課題活動を設定しました。草津市ボランティア連絡協議会や、令和3年度に大学院生により立ち上がったボランティアグループ「フリーダム」の協力をいただきながら、市内高齢者福祉施設へボランティアニーズの調査へ出かけたり、「ボランティアマッチングボード」を作成しました。

ボランティアがボランティアを紡ぐ市民目線のボランティア拡大事業を大学院の実践活動課題として、大学院生と事務局（市社協）で伴走しながら進めました。

実践活動

① 市内高齢者福祉施設に取材へ行こう

<取材先>

- ・地域密着型小規模多機能居宅介護サービス フェイス
- ・草津地域福祉事業所 みんなの家 放課後等デイサービス第2ももスマイル

② ボランティアマッチングブース開設作業（キラリエ草津4階交流スペース）

【大学院 活動日】

	開催日	内容	参加者
Practice 1	令和5年 8月 7日 (月)	市社協や大学院の意味のことを知ろう！	3人
Practice 2	令和5年 9月 8日 (金)	ボランティアの現状について知り、一緒に活動しよう！	3人
Practice 3	令和5年 11月10日 (金)	大学院生の仲間で施設ボランティアニーズを聞きに行こう！	2人
Practice 4	令和4年 12月 1日 (金)	活動を実践しよう！① ～市内高齢者福祉施設に取材へ行こう～	2人
Practice 5	令和5年 12月13日 (水)	取材の結果を振り返り、共有しよう！	2人
Practice 6	令和6年 1月25日 (木)	活動を実践しよう！② ～施設ボランティアニーズチラシを作成して、「ボランティアマッチングボード」を作ろう！～	2人
Practice 7	令和6年 3月 4日 (月)	実践活動の振り返りと実践発表会の準備をしよう！	2人

※第5回草津市福祉教養大学大学院卒業生 2人

●地域福祉活動助成

3,640,000円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の地域福祉活動を展開する補助金を学区社協へ交付しました。

また、個人・企業から集まった賛助会費について、地域の特徴を生かした学区社協活動へ助成を行いました。

●学区の元気をカムバック補助金助成

205,000円

アフターコロナを見据え、学区社協事業で福祉委員の活性化を考える新しい事業、医療福祉を考える会議で立ち上がった新しい事業、学区社協便覧に記載された「わが学区社協の主な事業」を拡大するための応援補助の他、コロナ禍で新規に立ち上がった、学区社協事業に協力するボランティアグループまたは学区社協事業に協力する新たな担い手やボランティア拡大のための事業・活動についての応援補助をしました。

採択にあたっては、市社協で助成先を決定し、交付しました。

<コロナ前の元気を取り戻そう学区社協応援補助金 (35,000円/学区) >

○申請学区…5学区

○採択学区…5学区

No.	学区	事業名
1	草津	地域サロン交流会
2	矢倉	コロナ前の元気を取り戻す場所づくり事業
3	老上西	「回想法」を取り入れた高齢者サロン
4	玉川	ふれあいサロン
5	常盤	地域サロン活動支援事業

<学区の元気を取り戻しますボランティア活動グループ応援補助金(30,000円/学区)>
 ○申請学区…1学区
 ○採択学区…1学区

No.	学区	事業名
1	矢倉	学区のみなさんが気軽に集まれる場所 ふれあい喫茶「憩」の新規開設

●福祉委員設置促進

175,244円

「福祉委員の手引き」をもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

また、学区社協や学区民児協の協力のもと、市内14学区の福祉委員や14学区社協役員、民生委員・児童委員等を対象にした福祉委員研修会を、学区別で2日間実施しました。参加者には、地域福祉活動とは何かということや、暮らしの問題に着目した地域でのボランティア活動の大切さを学んでいただくことができました。

【研修支援】

合計参加者：111人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	山田	令和5年 5月23日(火)	福祉委員とは 福祉委員のあり方	山田学区社協	15人
2	草津	令和5年 5月29日(月)	福祉委員の役割について	草津学区社協	20人
3	笠縫	令和5年 6月3日(土)	担い手研修 ～地域の中での福祉委員とは～	笠縫学区社協	50人
4	志津	令和5年 7月15日(土)	福祉委員の役割について	志津社協	6人
5	老上	令和5年 8月3日(木)	福祉委員について	老上学区社協	20人

※市内合計12学区419人のうち、委嘱状交付学区は4学区・合計145人
 (内訳) 志津学区 32人・草津学区 25人・老上学区 30人・笠縫学区 58人

【福祉委員研修会】

内容：地域福祉活動の大切さ

講師：龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口浩次さん

No.	開催日	対象学区	参加者
1	令和6年 2月26日(月)	草津・大路・渋川・老上・老上西・笠縫東・常盤	40人
2	令和6年 2月28日(水)	志津・志津南・矢倉・玉川・南笠縫東・山田・笠縫	29人

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業(地域支え合い推進員による学区支援)
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援補助金

(1-2) 地域で支えあう仕組みづくり 重点

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

●生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員の配置と協議体の設置）

20,737,000 円

○医療福祉を考える会議の支援

学区ごとに地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を配置して、各学区における課題や取組を地域と関係者がともに検討する「医療福祉を考える会議」の運営を支援しました。また、同会議に関する周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」や市社協ホームページを活用して会議の様子について情報発信しました。

学区・区	開始年度	令和5年度			延べ 本番会議 開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる 打合せ等の支援回数)		
志津	H27	認知症の人にやさしいお店や事業所が学区内に広がるよう、認知症についての正しい理解を深める	3回	(45回)	28回
志津南	R2	志津南学区の暮らしの問題と、今ある社会資源（活動、福祉サービス）を知り、みんなで共有する	3回	(68回)	5回
草津	H30	コロナ禍を経験したことから未来を語り合いましょう！	1回	(4回)	5回
大路	未実施	支えあいの機運を高める	—	(1回)	—
渋川	H27	「出張しぶはなちゃん健康相談サロン」の開催に向けて	4回	(18回)	15回
矢倉	H27	居場所を広げよう	0回	(2回)	14回
老上	H24	ピカッと草津*	1回	(77回)	21回
老上西	H24	高齢者に関する困りごとの解決に向けて	2回	(11回)	23回
玉川	H29	障害者のくらしについて理解を広げる	2回	(41回)	14回
南笠東	H28	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める	1回	(54回)	9回
山田	H25	ピカッと草津*	2回	(67回)	24回
笠縫	H28	見守りの体制づくり	6回	(54回)	39回
笠縫東	H24	ピカッと草津*	0回	(16回)	20回
常盤	H27	学区で最期まで自分らしく生きるには	2回	(68回)	13回
合計			26回	(530回)	226回

※「ピカッと草津」…訪宅サービス事業所の駐車場所を地域内で提供しあう取組を通じて、地域の福祉意識の向上を図る取組を進めています。

○「地域サロン・事業所情報システム」の作成

住民間の支え合い活動や集まりの場などの資源情報を集約したシステム構築に、市と連携して取り組みました。市内の地域サロンや関係事業所へのアンケート調査などから情報を整理し、今後の地域支援に活用できるよう製作を進めました。

○勉強会への参加

外部で実施される勉強会に参加し、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）としてのスキルアップを図りました。

No.	開催日	研修名	内容	参加者
1	令和5年 6月28日（金）	第1回重層的支援体制整備にかかる勉強会（縁つむぎ会議）	・講義 「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築と重層的支援体制整備事業」	2人
2	令和6年 2月22日（木）	滋賀県社会福祉学会第42回大会	・研究発表 「在宅化を進める地域づくり ～訪問介護時の駐車場問題から見えてくる地域理解の必要性～」	3人

○地域包括支援センター、市等との連携

地域支援の中心を担う各圏域地域包括支援センター・市・市社協が連携し、医療福祉を考える会議が効率的・効果的に進められるよう丁寧に事前調整を行いました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を深めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

人とくらしのサポートセンターと毎月調整会議を実施し、生活支援体制整備事業の展開について協議しました。

●地域支え合い運送支援

453,763円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業の運営を支援するとともに、活動の普及を図るため、活動者および活動に関心のある市民を対象として安全運転講習を開催し、事業内容の説明や安全運転に関する啓発を行いました。また、法令に基づきアルコール検知器によるアルコールチェックの実施について周知を徹底し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

【安全運転講習】

開催日	内容	参加者
令和5年 11月30日（金）	① 講話「警察署から専門的指導と助言」 講師：草津警察署交通第1課 岡田 航さん ② 地域支え合い運送、福祉車両貸出事業について ③ ボランティア同士の交流会	28人

【事業実施状況】

	志津南		山田		老上・老上西		南笠東	
事業主体	志津南学区 まちづくり 協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・ 老上西学区 社会福祉協議会		南笠東学区 社会福祉協議会	
実施主体	志津南学区 社会福祉 協議会				老上送迎サポート		南笠東学区 まちづくり 協議会	
貸与車両	ダイハツ タント		トヨタ ヴィッツ		ダイハツ タント		ダイハツ タント	
実施年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度
利用 登録者数	32人	25人	23人	28人	55人	40人	158人	143人
延べ 送迎人数	107人	95人	281人	270人	120人	124人	241人	289人
送迎 ボラ人数	7人	8人	11人	11人	8人	10人	5人	5人
送迎日数	85日	80日	133日	150日	120日	124日	197日	196日
走行距離	1,291 km	1,000 km	1,611 km	1,996 km	995 km	1,089 km	5,804 km	5,579km
送迎先	近隣病院 地域の会館		まちづくりセンター 病院		近隣商業施設 近隣病院		近隣病院 公共施設 近隣商業施設	

●草津フードバンクセンター

169,150円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、市社協（草津フードバンクセンター）にご寄付いただいた食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。

事業実施にあたっては、関係機関の協力のもと、市民に身近な施設においてフードドライブを実施することができ、また、事業に賛同する企業のご厚意もあって、周知啓発や食糧の受け入れにつながりました。

【提供した施設等】

目的・施設の別	団体数
子どもたちなどを対象にしている団体・施設への支援	13団体
学区社会福祉協議会への支援	11団体
高齢者施設	13団体
障害者施設	17団体
地域で福祉活動をされている団体	7団体
その他団体	3団体
その他、生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援	

【移動フードドライブ】

場 所	時 期
カフェほっこり	常設
新田会館	常設
山田まちづくりセンター	夏のフードドライブ期間 6/6～6/19 秋のフードドライブ期間 11/11～11/27
オムロン株式会社草津事業所	秋のフードドライブ期間 9/1～9/29
ゆかい家	夏のフードドライブ期間 6/13～6/19
市役所2階 (健康福祉政策課内)	秋のフードドライブ期間 9/20～9/28 冬のフードドライブ期間 11/21～11/29
南笠東まちづくりセンター	秋のフードドライブ期間 10/14～10/31
草津市立ロクハ公園 (志津ふれあい広場)	冬のフードドライブ期間 11/5
高穂中学校	冬のフードドライブ期間 11/24

【寄付食品、寄付者一覧】

期間	R4年度 繰越	第1回 春	第2回 夏	第3回 秋	第4回 冬	第5回 冬以降	R4年度繰越、 第1～5回 合計	
		4/1～ 5/30	6/1～ 7/31	8/1～ 9/30	10/1～ 11/30	12/1～ 3/31		
寄付 食品	米	643 kg	232 kg	120 kg	619 kg	955 kg	637.7 kg	3206.7 kg
	米以外	498 品	2,333 品	1,957 品	445 品	1,635 品	2,123 品	8,991 品

寄付者 (移動フードドライブ含む)	団体	個人	合計(延べ)
		46件	210件

【米以外の寄付食品の内訳】

	米以外(品)												米以外
	乾 麺	乾 物	粉 類	缶 詰	レ ト ルト	食 用 油	ル ー	調 味 料	菓 子	飲 料	ビ ン 類	そ の 他	合計 (品)
米以 外の 食品	873	614	66	387	589	68	103	541	2,463	882	111	2,294	8,991

●関係団体への支援

157,600 円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

助成対象団体	目的	助成金の額
草津市老人クラブ連合会	高齢者を対象とする健康増進事業に対する助成により活動を支援	72,000 円
草津手をつなぐ育成会	共同作業所で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動への支援	40,000 円
肢体不自由児者父母の会	肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換への支援	38,000 円
草津市視覚障害者協会	中途視覚障害者を対象とする交流会事業等への支援	7,600 円

●福祉機器リサイクル（貸出事業）

157,000 円

ケガや一定期間の外出などの事情により一時的に車いすが必要になった方に、車いすの貸出を行いました。貸出用車いすの一部はリサイクル品を活用し、資源の循環に資する取組として実施しました。限られた台数の車いすを多くの方に利用していただけるよう、貸出期間等の見直し等を行い、新しいルールに基づいて貸出サービスを行いました。

貸出備品	令和5年度	令和4年度	令和3年度
車椅子	155回	154回	139回

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・まごころ便
- ・福祉車両貸出

(1-3) 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを配置し、学区社協活動に参加・協力、支援をしてきました。医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気付きが生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和5年度 支援回数	主な支援内容
志津	65回	・医療福祉を考える会議への支援 ・「ぷらっと茶屋」「くすのきレストラン」への支援
志津南	96回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいハウス絆への支援
草津	41回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・福祉委員研修会への支援
矢倉	30回	・ふれあい喫茶憩への支援 ・矢倉にここレストランへの支援
大 路	27回	・学区社協事業への支援
渋 川	26回	・医療福祉を考える会議への支援
老 上	77回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
老上西	28回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
玉 川	78回	・医療福祉を考える会議への支援 ・社会福祉委員研修への支援
南笠東	54回	・地域支え合い運送支援事業への支援 ・健幸プロジェクトへの支援
山 田	72回	・医療福祉を考える会議への支援
笠 縫	111回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区地域サロン交流会 ・ふれ愛おでかけ訓練への支援
笠縫東	23回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常 盤	87回	・医療福祉を考える会議への支援
計	815回	

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）

(2) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広めていくため、多種多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

(2-1) 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり 重点

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえるよう、ボランティアの魅力発信や、子どもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

●収集ボランティア啓発

2,894 円

コロナ禍でも身近にできるボランティア活動として、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集の啓発に努めました。

【収集実績】

収集物	令和5年度	令和4年度
使用済み切手	110件	116件
使用済みカード	1件 18枚	1件 4枚
書き損じはがき	1件 18枚	1件 6枚
ペットボトル キャップ	405件 2773.67kg	363件 1991.46kg
プルトップ	179件 373.66g	166件 265.26kg

【協力団体】

幼・保育園	5園
まちづくりセンター	11カ所
企業	18団体
地域サロン	6サロン
民児協	1団体
個人	延べ241人

学校	小7、中2、高3
まちづくり協議会	2学区
ボランティア団体	6団体
市役所	6部署
学区・区社協	3学区
その他	5団体

●若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

4,540円

「1日だけのボランティア活動」というテーマでボランティアマルシェのイベント運営ボランティアに参加していただき、「まずは、ボランティアを楽しい」と感じてもらい、草津市ボランティアセンターの存在とボランティアを始める第一歩が踏み出しやすいように呼びかけをしました。

19名の高校生・大学生が集まり着ぐるみやバルーン、誘導など運営の様々なボランティアをしていただきました。また、イベント後には学生の交流会を実施し、他校の学生同士で交流し、ボランティアに関する意見交換等を通じてボランティア意識の向上を図る機会を提供することができました。

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・災害ボランティアセンター
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協事業ボランティア育成講座
- ・共同募金活動助成

(2-2) 新たなボランティア発掘の仕組みづくり **重点**

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広めます。

●市社協事業協力ボランティア育成講座

43,340 円

市社協が実施する電話訪問事業、福祉車両貸出事業、フードバンク事業等に協力いただくボランティアの担い手を育成することを目的として講座を実施したところ、事業内容やボランティア活動について周知を図るとともに、ボランティア活動者の増加につながりました。

【新規ボランティア登録数】

- 電話訪問事業（傾聴ボランティア）…9人
- 福祉車両貸出事業（送迎ボランティア）…2人
- フードバンク事業（フードバンク事業協力ボランティア）…7人

	開催日	内容	参加者
第1回	令和5年 9月4日（月）	「電話訪問事業、福祉車両貸出事業、フードバンク事業って？」 ボランティアについて知ってみよう！	18人
第2回	9月26日（火）	「傾聴講座基礎編」 傾聴の姿勢や大切さについて学んでみよう！	11人
第3回	10月3日（火）	「傾聴講座まとめ編」 傾聴に関する知識を身につけよう！	12人

●草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金

20,000 円

草津市福祉教養大学院生・卒業生が立ち上げるボランティアグループに草津市福祉教養大学で学んだ成果を発揮する場を増やし、継続的に活動していただけるようにすることを目的として教養大学院卒業生が立ち上げたボランティアグループ2団体に助成を行いました。助成金を活用し、ボランティアグループの活動基盤の整備、自主的な活動を広げるための支援につながりました。

【助成対象団体】

- ボランティアグループふくちゃん
- V.G. フリーダム

●ボランティアマルシェ

333,278 円

市社協の魅力の発信や新たなボランティア活動の発見づくり、ボランティアの活動の場を拡大することを目的として、ボランティアマルシェを実施しました。コロナ禍で減少していたボランティア活躍の場となり、キラリエに立ち寄ったことのない方にもキラリエや市社協を知っていただく機会となりました。

開催日	令和5年6月4日（日） （キラリエ草津 1階プロムナードおよび4階）
参加者数	約500人
内容	①見せる・魅せる市社協ブース （ボランティアセンター啓発、共同募金・ウクライナ義援金） ②連携ブース （草津市コミュニティ事業団キャラクターマッチ、およびふくちゃん の関連グッズ販売、心配ごと相談所チラシ配布）

	<p>③手話体験または点字体験をしよう (点字で名刺づくり、手話で自己紹介・あいさつ)</p> <p>④障害者団体・市社協コラボ事業 (わかたけ作業所パン販売)</p> <p>⑤草津市社協チューリップ事業について知ろう (地域・行政・市社協連携ブース、草津市社協チューリップ事業啓発・生理用品寄付)</p> <p>⑥映え映えブース (キラリエ入居者団体キャラクター3体からなるキラリエスリーとの写真撮影ブース)</p> <p>⑦ボランティアに触れてみよう (ボランティアグループによるマジック、紙芝居、人形劇)</p> <p>⑧収集ボランティアについて知ろう (ペットボトルキャップ・プルトップ・古切手ブース)</p> <p>⑨スタンプラリー景品引換所 (スタンプラリーカードの配布とフレンドマートとコラボ景品の受け渡し場所)</p>
--	---

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/出前ボランティア一覧

作成 **282,700円**

ボランティアグループ・地域サロン間での情報共有や活動の活性化、ボランティアの仲間づくりに活用していただくツールとして、ボランティアグループ・地域サロン活動リストを作成しました。

地域からの出前希望に対応できるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として、出前ボランティア一覧を作成しました。

	ボランティアグループ・ 地域サロン活動リスト	出前ボランティア一覧
作成部数	150部	310部
配布先	登録ボランティアグループ、 草津市コミュニティ事業団、 地域まちづくりセンター 地域サロン、学区社協、学区民児協、 市役所、地域包括支援センター、 図書館、隣保館等	地域まちづくりセンター、 地域サロン、学区社協、学区民児協、 幼稚園・保育園・こども園、 小・中学校、市内福祉施設、 図書館、隣保館等

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティアセンター

(2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえる仕組みづくりを進めます。

●独居高齢者電話訪問

90,307円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで、孤立や孤独に陥らないように、民生委員・児童委員と連携して支援しました。

○利用者：14人

○傾聴ボランティア：8人

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
電話訪問回数	185回	279回	270回	227回	191回

●災害ボランティアセンター

148,728円

災害時に設置する災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう運営訓練を実施しました。訓練検討委員会を2回、運営協議会を1回開催し、会議の中で各班の業務内容等の確認、シミュレーションを行い、運営方法を検討しました。新型コロナウイルス等の影響により、3年ぶりの訓練となったため、参加人数を例年の半数とし災害ボランティアセンター運営協議会構成団体へ参加を呼びかけました。さらに、職員でもシミュレーションをすることで運営時の体制を確認しました。

また、草津市、草津青年会議所および市社協の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結していることから、日頃からの協力体制を高めていくために、三者で協力し、災害ボランティアセンターについての研修会を開催しました。

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和5年 10月17日(火)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練時各班業務内容について	14人
第2回	11月7日(火)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練時各班業務内容について ・各班の副班長決め ・訓練のシミュレーション	18人

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和5年 12月8日(金)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練シミュレーション	19人

【災害ボランティアセンター研修会】

開催日	内容	参加者
令和5年 12月18日(月)	第1部(草津市危機管理課) 「命を守る (災害発生直後に地域住民が求められる役割)」 第2部 ・「災害ボランティアセンターの取組をとおした 地域福祉活動の大切さ」(草津市社会福祉協 議会) ・「暮らしを取り戻す」(草津青年会議所)	73人

【災害ボランティアセンター運営訓練】

開催日	参加者
令和6年 1月27日(土)	災害ボランティアセンター運営協議会 構成団体 48人

<関連する事業>

- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティア活動支援
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・収集ボランティア

基本目標 3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 45グループ（会員数750人）

○役員会・総会・交流会等の支援

総会や代表者会議、交流会、機関誌発行に向け準備し、出席しました。

開催日	会議の種類	内容	参加者
令和5年 4月17日（月）	代表者 会議	・令和5年事業計画（案）について ・令和5年度会計予算（案）について ・令和4年度会計決算報告について ・令和5年度登録団体 ・活動経過報告、今後の予定	25人
5月10日（水）	第37回 総会	・令和4年度事業報告および会計報告 ・令和5年度事業計画（案）および会計 予算（案） ・役員紹介	21人 15人 委任状
8月24日（木）	代表者 会議	・経過報告、今後の予定 ・市社協会長表彰推薦団体について ・交流会について ・機関紙「れんきょう」発行について ・館外研修会について	31人
9月26（火）	会員 交流会	6団体発表	57人
令和6年 3月27日（水）	代表者 会議	・令和6年度活動計画について ・令和5年度活動報告・会計決算について ・令和6年度代表者会議について	26人

●ボランティア保険加入促進

57,300 円

ボランティア活動が安心して行えるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類	令和 5 年度	令和 4 年度
ボランティア活動保険 基本プラン	3, 436 人	3, 396 人
天災プラン	353 人	388 人
特定感染症重点プラン	26 人	21 人
連協加入	573 人	579 人
ボランティア行事用保険	280 件	219 件
送迎サービス保険	2 件	2 件
福祉サービス総合保障	18 件	8 件

●福祉車両貸出

748,501 円

家庭の事情や身体状況などにより、病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている送迎ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
送迎ボランティア数	13 人	11 人	11 人
送迎依頼者数	24 人	21 人	15 人
送迎対応件数	327 回	221 回	175 回

●社会福祉法人との連携

33,002 円

草津市には28の社会福祉法人が約100の事業所を運営されています。地域の社会福祉施設は、高齢、障害、子どもの分野等でそれぞれ福祉の向上をめざして事業運営をしています。お互いの事業を理解し、各施設の専門性や職員の知識・経験を活かして、分野を超えた横のつながりを深め、地域貢献活動の発展や、地域の課題解決をめざす連携会議の立ち上げに向け、市内の一部の法人と意見交換を行いました。

開催日	内容	参加者
令和 6 年 3 月 2 8 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人と社協の連携の意義 市社協の取組紹介 所属法人・事業所での地域との連携や課題について (意見交換) 	10 法人 (市社協より 3 人)

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業 (地域支え合い推進員による学区支援)

(2) 分野を超えたつながりづくり **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などつながり、連携を図ること、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

●善意銀行の活用と運用、寄付金の募集

寄付金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し、一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄付する「寄付付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄付金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄付は、ボランティアセンター運営にかかる事業実施に活用しました。

さらに、いただいた寄付金を広報紙・ホームページに掲載し、寄付金募集の啓発に努めました。

【寄付金状況】

寄付名	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額	寄付金額	
市社協が行う各地域福祉事業	46件	1,632,084円	41件	586,167円	47件	1,157,880円	57件	1,780,719円
ボランティア基金事業	3件	1,200円	3件	3,044円	8件	62,923円	10件	132,000円
善意銀行	6件	416,454円	7件	612,000円	6件	165,991円	2件	50,000円
施設設備等寄付金	0件	0円	0件	0円	0件	0円	1件	3,344,000円
災害復興基金	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
計	55件	2,049,738円	51件	1,201,211円	61件	1,386,794円	70件	5,306,719円

【寄付物品状況】 ※順不同・敬称略

リハビリパンツ、大人用紙おむつ、尿取りパッド、その他 計85件

(谷岡俊明、梅田のり子、藤田眞実子、柴原光弘、デイサービス向日葵、ゆかい家、安部啓子、コープしが、坂上妙子、オムロン株式会社草津事業所、田中實治、富澤千鶴子、田中政子、川崎美奈、山本幸代、他匿名)

●つながり応援まごころ便

2,200円

子どもや子育て世代のつながりづくりを応援する市内企業からご寄付いただいた乳幼児向けの帽子(新品)500個を、市内の子育てサロン・サークル等23団体に配分しました。

<関連する事業>

- ・社会福祉法人との連携
- ・生活支援体制整備事業(地域支え合い推進員による学区支援)
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンター運営と機能強化

Ⅱ. 市社協が取り組む福祉の基盤づくり ～地域福祉活動発展計画～

基本目標 地域で安心して暮らしてつづけることができる体制づくり

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 **重点**

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等）

475,182 円

学区社協会長同士の情報交換や、福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。

その他、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長同士が積極的に情報交換できるよう努めました。

また、9月度と2月度は学区社協事務局長等会議と合同で実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

開催日	主な協議内容
令和5年 4月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度市健康福祉部・子ども未来部の職員紹介 令和5年度市社協事務局の職員紹介 重層的支援体制整備事業について 他機関の委嘱について 福祉委員の委嘱について 草津市社協フードドライブ事業について 滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費分担金の納入方法について 令和5年度学区社会福祉協議会事務局長等会議との合同開催について 民間助成事業の案内について
5月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> 学区・区社協会長会会長、副会長の選任について 草津市社会福祉協議会次期理事・評議員候補の推薦について 他機関の委嘱について 令和5年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費の御協力について 草津市社協「移動フードドライブ事業」について 敬老会の祝封筒等について

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費の分担金について ・民間助成事業の案内について ・「第73回社会を明るくする運動」の街頭啓発（予定）について
6月20日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会について ・令和5年度赤い羽根共同募金運動への御協力とお願いについて ・令和5年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・地域サロンについて ・令和5年度第6回草津市福祉教養大学・第5回大学院<外部編入コース>の案内について ・第73回「社会を明るくする運動」街頭啓発の協力依頼について
7月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換（敬老会について） ・民間助成事業の案内について
8月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度共同募金運動について ・各学区での歳末たすけあい街頭募金運動（予定）について ・一般会費納入依頼について ・令和5年度賛助会費募集日程について ・フードバンクセンター事業について ・令和5年度便覧について ・令和5年度草津市社会福祉協議会講演会（役員等研修）について ・民間助成事業の案内について
9月20日（水） （学区社協事務局長等 会議との合同会議）	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 内容：令和4年度滋賀の医療福祉に関する県民意識調査結果 講師：滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 在宅医療福祉・認知症施策推進係 太田要さん ・共同募金運動について ・令和5年度地域懇談会について ・令和5年度草津市社会福祉功労者表彰式の開催について ・民間助成事業の案内について
10月20日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生紹介 ・令和5年度草津市社会福祉協議会会長表彰被表彰者の決定について ・令和5年度「送迎ボランティアのための安全運転講習会」について ・令和5年度敬老会の実施報告について
11月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市災害ボランティアセンターについて ・令和5年度歳末たすけあい募金運動 街頭募金の実施状況について ・「地域サロン立ち上げ講座」について ・第6回草津市福祉教養大学 第4講座について
令和6年 1月22日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員紹介 ・令和5年度赤い羽根共同募金の実績報告について ・一般会費・賛助会費の報告とお礼について ・令和5年度福祉委員研修について ・2月度学区社協会会長・第2回学区社会福祉協議会事務局長等会議 合同会議の開催について

<p>2月20日(火) (学区社協事務局長等 会議との合同会議)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動推進事業補助金について ・令和6年版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和5年度地域サロン事業報告書および令和6年度地域サロン事業計画書の提出について ・令和6年度学区社協会長会の日程について ・各学区社協の総会について ・各学区取組状況について
--	---

●地域福祉活動推進の支援強化

153,291円

市社協が草津市地域福祉活動計画に基づき、より良い事業展開をしていくため、地域における福祉活動の取組状況の把握と、計画の進捗管理を行い、地域福祉活動の更なる発展を支援しました。

【会議開催一覧】

開催日	会議名	内容
令和5年 8月1日(火)	第1回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次草津市地域福祉活動計画の評価について ・令和4年度草津市社会福祉協議会事業の報告および第4次草津市地域福祉活動計画の評価について
令和6年 1月30日(火)	第2回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の事業取組状況ならびに令和6年度の事業予定について

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）
- ・地域福祉活動助成

(1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

【専門部会・委員会・連絡会活動の支援】

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	<ul style="list-style-type: none">・「民生委員・児童委員としての信頼関係、人間関係の築き方」をテーマに研修会の実施・単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	<ul style="list-style-type: none">・「介護保険制度について」をテーマに研修会の実施・「認知症の人の気持ちを理解する」をテーマに研修会の実施
障害福祉部会	<ul style="list-style-type: none">・「障害福祉に関すること」をテーマに研修会の実施・「基幹相談支援センターについて」をテーマに研修会の実施・「ふくふくサロン」への参加・協力
児童福祉部会	<ul style="list-style-type: none">・子育て支援施策や児童虐待防止に向けた取組について学ぶ研修会の実施・児童委員としての活動の在り方や実態について学ぶ研修の実施
人権・同和部会	<ul style="list-style-type: none">・草津市の人権同和政策についてや現在の人権課題と救済のしくみを学ぶ研修会の実施
広報委員会	<ul style="list-style-type: none">・事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行・より良い広報・啓発を行うため研修会の実施・市社協ホームページ内の民児協のページをリニューアル
研修委員会	<ul style="list-style-type: none">・総会研修の実施・5グループに分けた全員研修の実施・単位民児協が実施する研修の情報交換を実施
主任児童委員連絡会	<ul style="list-style-type: none">・乳幼児健診（10か月健診）の見守り・小中学校との懇談会の実施・講師を招いた研修会の実施

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金
- ・生活福祉資金

(1-3) ボランティアセンターの機能強化 **重点**

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

●ボランティアセンター運営

205,746円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの援助相談に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアとの間で需給調整を行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人ボランティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和5年度	346団体	6,070人	67人	6,137人
令和4年度	376団体	5,776人	65人	5,841人
令和3年度	358団体	5,980人	38人	6,018人

【ボランティア需給調整（令和5年度実績）】

内容	件数
ボランティア調整	137
ボランティア相談	48
福祉教育	15
福祉教育貸出備品（V調整含めず）	15
レイカディア大学調整	32
ボランティアマルシェ調整	6
合計	253

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・ボランティア活動支援
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・収集ボランティア啓発
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・市社協ボランティア育成講座
- ・災害ボランティアセンター
- ・草津市福祉教養大学卒業ボランティアグループ応援助成金
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・ボランティア連絡協議会加入促進

(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

●市社協会費

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	31,728世帯	31,939世帯	30,962世帯	31,629世帯	31,155世帯
会員	4,759,200円	4,790,900円	4,639,800円	4,744,450円	4,673,200円
賛助	465社	456社	460社	573.6口	585.6口
会員	2,875,000円	2,875,000円	2,878,000円	2,868,000円	2,928,000円
計	7,634,200円	7,665,900円	7,517,800円	7,612,450円	7,601,200円

※令和3年度から、賛助会員数で記載

<関連する事業>

- ・まごころ便
- ・社会法人との連携
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員による学区支援）

(2) 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

(2-1) 包括的な相談体制の構築 **重点**

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

●生活つなぎ資金貸付

1,460,000円

民生委員・児童委員や人とくらしのサポートセンター、市関係各課と連携し、一時的に生活困難な状態に陥った世帯が再び安定した生活に戻れるまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

【貸付相談件数】

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付相談件数	46件	63件	37件	28件	42件

【貸付状況】

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付件数	32件	51件	32件	25件	37件
貸付額	1,460,000円	2,220,000円	1,300,000円	1,125,000円	1,540,000円

●生活福祉資金貸付

21,390,614円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。昨年度貸し付けが終了した新型コロナウイルス特例貸付の償還が開始し、そのフォローアップとして相談員を増員し対応しました。相談者一人ひとりにきめ細やかな対応を行うとともに、市に設置されている人とくらしのサポートセンターとも連携しながら、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】（単位：件）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
貸付相談件数	973	321	865	1,401	125

【貸付件数】（単位：件）

	新型コロナウイルス特例貸付			総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	合計
	緊急小口資金	総合支援資金	延長、再貸付申請等		緊急小口資金	福祉費					
令和5年度	0	0	0	0	8	6	11	0	0	0	25
令和4年度	140	136	0	0	16	8	21	0	0	0	321
令和3年度	662	681	1,048	0	7	8	16	0	0	0	2,422
令和2年度	1,087	871	795	0	9	7	15	0	0	0	2,769
令和元年度	—			0	15	9	10	0	0	0	34

●心配ごと相談所開設

1,544,505円

市民に身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応するとともに、広報紙により相談所の周知に努めました。

- 開設日時 … 月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時
- 弁護士相談… 原則第1・第3水曜日に実施
- 相談員 … 「成年後見制度と家族信託」について研修会を実施

- ・年に2回、つながりサポート事業に係る関係機関連絡会に参加
- ・年に6回、相談員連絡会を開催し、相談員同士の情報交換を実施

【相談内容の内訳件数】

内容	令和5年度	令和4年度	内容	令和5年度	令和4年度	内容	令和5年度	令和4年度
離婚	13	12	生計	6	5	精神保健	6	1
家族	54	42	財産	35	31	苦情	1	6
人権・法律	4	11	住宅	18	10	職業・生業	26	43
事故	6	2	消費者問題	4	3	医療	1	0
結婚	0	0	環境	14	10	高齢者福祉	3	3
年金	0	1	児童福祉	0	1	教育・青少年	0	1
心身障害児者福祉	0	0	母子父子福祉	0	0	その他	144	152

合計	令和5年度	335	令和4年度	334
----	-------	-----	-------	-----

●歳末たすけあい見舞金の配付

3,002,587円

市内の経済的事情により生活に困っておられる世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。また、福祉施設や団体等へ見舞金を配布しました。

見舞金の配布先など	対象数
市内の準要保護世帯	209世帯
福祉施設、団体等	67施設
歳末たすけあい子ども支援事業助成	3学区
その他、一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援	市社協緊急食糧支援として 16件 チューリップ事業を通して 4件 草津市（人とくらしのサポートセンター） を通して 5件

<関連する事業>

- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

(2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしします。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

5,263,900円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。利用者に寄り添った、確実できめ細かな支援を継続できるよう支援を行いました。

また、滋賀県社会福祉協議会が主催する、地域福祉権利擁護事業生活支援員、新任職員研修会に参加しました。

【相談件数】

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
高齢者	618件 (332件)	427件 (146件)	373件 (171件)	334件 (157件)	280件 (118件)
知的障害者	1,121件 (175件)	1,334件 (182件)	687件 (160件)	722件 (102件)	823件 (220件)
精神障害者	1,570件 (805件)	1,731件 (961件)	1,557件 (930件)	1,152件 (761件)	970件 (477件)
身体障害者	87件 (0件)	48件 (0件)	28件 (0件)	74件 (9件)	216件 (14件)
計	3,396件 (1,312件)	3,540件 (1,289件)	2,645件 (1,261件)	2,282件 (1,029件)	2,289件 (829件)

※令和元年度から身体障害者項目追加
※()は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
高齢者	6人	4人	6人	7人	5人
知的障害者	24人	25人	23人	21人	22人
精神障害者	16人	18人	17人	16人	14人
身体障害者	0人	1人	1人	1人	1人
合計	46人	48人	47人	45人	42人

【契約人数の状況】

	令和4年度 契約人数 (A)	令和5年度 解約人数 (B)	令和5年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (うち生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	4人	1人	3人	6人(3人)
知的障害者	25人	2人	1人	24人(2人)
精神障害者	18人	3人	1人	16人(8人)
身体障害者	1人	1人	0人	0人(0人)
合計	48人	7人	5人	46人(13人)

【支援回数】

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
支援回数	895回	837回	922回	1,058回	915回
内生活保護受給者支援回数	372回	365回	374回	325回	280回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員： 5人
- ・生活支援員： 22人（男性：7人 女性：15人）

○地域福祉権利擁護事業 新規相談等の受付経路】

- ・地域包括支援センターからの相談 16件
- ・市立障害者福祉センターからの相談 8件
- ・ケアマネジャーからの相談 12件
- ・その他支援機関からの相談件数 29件

【支援専門員・生活支援員 研修会】

開催日	内容	参加人数
令和5年 5月24日（水）	【県社協新任研修会】 ・地域福祉権利擁護事業について ・認知症の人の理解と支援について ・精神障害者の理解と支援について	専門員： 2人 支援員： 3人
令和5年 5月30日（火）	【県社協新任研修会】 ・知的障害者の理解と支援について ・権利擁護と相談の基本を学ぶ	専門員： 1人 支援員： 3人
令和5年 12月19日（火）	【市社協研修会】 ・地域福祉権利擁護事業について 講師：県社協職員	専門員： 5人 支援員： 10人
令和6年 1月18日（木）	【市社協研修会】 ・障害者差別のない共生社会を目指して 講師：市立障害者福祉センター所長	専門員： 5人 支援員： 10人

●適正実施の確保に向けた取組

令和4年度における地域福祉権利擁護事業の不適切事案を踏まえ、専門員や支援員等が事業を適正に遂行するための資質や能力を備える取組を推進するにあたり、取組の方針や内容等について客観的かつ専門的な立場から意見を求めるために、懇話会を年2回実施しました。弁護士や行政等の委員から意見を聴き、取組方針の策定に反映しました。

開催日	内容
令和5年 10月10日（火）	(1) 地域福祉権利擁護事業および不適切事案の概要について (2) 適正な事業実施のための取組について
令和6年 3月6日（水）	(1) 適正な事業実施のための取組状況について (2) 次年度以降の取組方針について

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 **重点**

「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へPRすることで、地域福祉活動を応援いただける賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。

クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。

市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

● 「社協くさつ」 「ホームページ」 有料広告

85,000円

市社協広報紙「社協くさつ」、ホームページにて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

【社協くさつおよびホームページ 広告掲載企業】

9月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション、株式会社藤田
11月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
3月1日号	木川営農組合、(有)三王都市開発、 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション
ホームページ	特定非営利活動法人アイ・コラボレーション

● 「ふくちゃん」 啓発

ボランティアマルシェをはじめ、イベントにふくちゃんを派遣し、市社協のPRや草津市内の地域福祉活動について啓発を行いました。

No.	開催日	内容	依頼団体
1	令和5年 6月4日(日)	ボランティアマルシェ	※市社協事業で使用
2	10月4日(水)	ふれあい喫茶「憩」	馬池町自治会
3	10月15日(日)	矢倉フェスタ	矢倉町内会
4	10月22日(日)	大路区民まつり	大路区まちづくり協議会
5	11月12日(日)	山田ふれあいまつり	山田学区社会福祉協議会
6	12月22日(金)	キラリエクリスマス	※市社協事業で使用
7	令和6年 1月22日(月)	ペットボトルキャップ回収	常盤こども園

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	6,979,118円
歳末たすけあい募金	4,738,768円
計	11,717,886円

●赤十字事業の推進（日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局）

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、「社協くさつ」にて赤十字活動についての記事を掲載し、周知・啓発を呼びかけました。

義援金・救援金名	義援金・救援金額
令和5年5月能登地方地震災害義援金	11,961円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	1,703円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	5,851円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	33,263円
令和5年台風第6号災害義援金	1,867円
2023年リビア洪水救援金	1,000円
2023年モロッコ地震救援金	1,171円
令和5年台風第13号災害義援金	108,941円
令和6年能登半島地震災害義援金	4,975,174円
ウクライナ人道危機救援金	486,225円
合計	5,627,156円

（令和6年3月31日現在 累計額）

<関連する事業>

- ・市社協会員の拡大
- ・ボランティア基金の運用、寄付金の募集
- ・善意銀行事業
- ・寄付付き名刺の販売

(3-2) 事務局体制の強化

役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。

全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。

事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。

「草津市社会福祉協議会職員行動規則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

●社会福祉援助技術現場実習

社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供しました。

○受入期間： 令和5年10月2日（月）～11月7日（火）

○受入人数： 2人（龍谷大学）

●第三者委員の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員会を開催しました。

開催日	内容	出席委員
令和6年 3月26日（火）	・資金貸付事業に関する事案について ・地域福祉権利擁護事業の適正実施に向けた取組状況について	奥井晴喜 西川裕子 清水清之

●役員会の開催ならびに研修会の開催

949,402円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

【正副会長会】

開催日	議案
第1回 令和5年 5月30日（火）	※第1回理事会の提出議案について ・令和4年度事業報告の承認について ・令和4年度決算の承認について ・令和5年度第1次補正資金収支予算（案）の同意について ・理事候補者および監事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和5年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について ※第2回理事会の提出議案の確認について

第2回	9月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度草津市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について
第3回	11月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ※第3回理事会の提出議案について 令和5年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について 経理規程の一部改正について 評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について 令和5年度第2回評議員会の招集について
第4回	令和6年 2月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ※第4回理事会提出議案について 令和5年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について 令和6年度事業計画(案)の同意について 令和6年度資金収支予算(案)の同意について 令和6年度資金運用計画(案)の承認について 評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について 令和5年度第3回評議員会の招集について 役員等賠償責任保険契約の締結について 草津市社会福祉協議会中期経営計画(案)の承認について 第三者委員の委嘱について 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)の運営監視における助言事項について 滋賀県運営適正化委員会の勧告への対応について

【理事会、評議員会、評議員選任解任委員会】
(理事会)

開催日		議案
第1回	令和5年 6月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告の承認について 令和4年度決算の承認について 令和5年度第1次補正資金収支予算(案)の同意について 理事候補者および監事候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について 令和5年度定時評議員会の招集について 会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	6月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 会長の選定について 副会長の選定について 常務理事の選定について 評議員選任・解任委員会委員の選任について 評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について
第3回	12月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について 経理規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和5年度第2回評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	令和6年 3月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和6年度事業計画(案)の同意について ・令和6年度資金収支予算(案)の同意について ・令和6年度資金運用計画(案)の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・令和5年度第3回評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・草津市社会福祉協議会中期経営計画(案)の承認について ・第三者委員の委嘱について ・福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)の運営監視における助言事項について ・滋賀県運営適正化委員会の勧告への対応について

(評議員会)

開催日		議案
定時	令和5年 6月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告の承認について ・令和4年度決算の承認について ・令和5年度第1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事および監事の選任について
第2回	12月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第2次補正資金収支予算(案)の承認について
第3回	令和6年 3月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第3次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和6年度事業計画(案)の承認について ・令和6年度資金収支予算(案)の承認について ・滋賀県運営適正化委員会の勧告への対応について

(評議員選任解任委員会)

開催日		議案
第1回	令和5年 6月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第2回	6月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第3回	12月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第4回	令和6年 3月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について

○他機関の会議への参画

- ・草津市市政功労者表彰選考委員会
- ・草津市民生委員推薦会
- ・草津市人権擁護審議会
- ・草津市健康づくり推進協議会
- ・草津市ごみ問題を考える草津市民会議
- ・草津市人権擁護推進協議会
- ・草津市同和教育推進協議会
- ・草津市自殺対策推進会議
- ・草津市福祉有償運送運営協議会
- ・草津市地域包括支援センター運営協議会
- ・草津市障害者施策推進審議会
- ・草津市特定旅館建築規制審議会
- ・草津市あんしんいきいきプラン委員会
- ・草津市青少年育成市民会議
- ・草津市要保護児童地域対策協議会
- ・草津市発達障害者等支援システム推進協議会
- ・草津市平和祈念のつどい実行委員会
- ・草津市地域福祉推進市民委員会
- ・草津市住宅政策審議会
- ・草津市社会福祉法人等審査会委員
- ・日本赤十字社滋賀県支部評議員会
- ・社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員会
- ・湖南地域社会福祉連絡協議会
- ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会
- ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会

○役員研修会

開催日	内容	参加者
令和5年 8月 1日 (火)	<p>■滋賀県市町社会福祉協議会会長会トップセミナー 演題：「地域擁護支援における社協の役割 ～地域福祉権利擁護事業の政策上の位置づけ、事業の方向性～」 講師：日本福祉大学福祉経営学部（通信教育）教授 全国社会福祉協議会 元常務理事 渋谷篤男さん</p>	3人
令和5年 11月26日 (日)	<p>■第6回草津市福祉教養大学 第4講座 演題：「人生は足し算命」 講師：J A 愛知厚生連海南病院医師 大橋洋平さん</p>	17人
令和6年 2月 6日 (火)	<p>■湖南地域社会福祉連絡協議会役員研修会 内容：各団体の取組状況と課題等について発表と意見交換</p>	3人

●職員会議、職員研修の開催

市社協の適正運営や事業推進のための情報共有や共通認識を職員間で図るために、毎月定例の職員会議を行いました。

また、県社協等が主催する研修に参加し、職員としての資質向上に努めました。